

コースの基礎演習概要

コース 番号	3	コース名	地域福祉コース	コース定員	150 名
-----------	---	------	---------	-------	-------

1. キーワード

貧困・格差問題、家族、多文化共生、地域包括ケア、地域生活支援、福祉教育

2. 基礎演習のねらい

地域福祉コースの基礎演習では、学生が地域に出かけていき、地域社会の中に起きている問題を発見し、分析し、解決する方法を考えることのできる力を身につけることをねらいとします。

地域に行き、問題意識を持って大学に戻り、キャンパス内での学習（文献での学習や講義）に取り組むという学びのサイクルをつくることによって、地域福祉についての理解を深めます。

地域福祉コースで開講する基礎演習は、ゼミごとのテーマを設定しません。地域福祉の対象は、児童や障害、高齢者といった分野では区切ることのできない「地域生活」です。ですから、地域福祉の学びの入口となる基礎演習では、「ありのままの生活」と「ありのままの地域」を受け止めるセンスを養ってほしいと考えています。そこで「まず、人びとの生活や地域の現実に触れてみよう」というのが、地域福祉コースで開講するゼミの共通のねらいです。

3. 社会福祉基礎演習コース共通要素

地域福祉コースのゼミは、「フィールドワーク重視」を共通要素としながら、コミュニティ・ラーニング（CL）とサービスラーニング（SL）の二つのタイプのゼミを開講します。

◆**コミュニティ・ラーニング（CL）**…地域住民や行政、学校など、地域の多様な個人・組織・団体に
関わりながら学ぶゼミ。学生の問題意識や関心に応じて、随時、知多半島を中心にした愛知県内でイ
ンタビューや見学など、さまざまな活動を行います。

◆**サービスラーニング（SL）**……知多半島にあるNPOの活動に関わりながら地域貢献を通して学ぶ
ゼミ。夏休みを利用して6日間、知多半島にあるNPOで社会貢献活動を行います。

4. 所属ゼミ決定方法

コース選択の希望の際、地域福祉コース希望者には、CLかSLかどちらを選択するか希望を
ききます。学生の希望を踏まえて、コース会議で決定します。

コースからのメッセージ

私たちは、2011年3月に起きた東日本大震災によって壊された、被災者一人ひとりの生活、地域社会、
そして日本の社会全体の復興に取り組んでいかねばなりません。他方では「無縁社会」という言葉が生ま
れています。他の人とかわることなく毎日を送り、人生の最後を「孤独死」という形で迎える人も少な
くありません。

このような状況の中で、人と人との「つながり」をつくりなおし、支えあって暮らしていける地域社会
にすることによって、だれもが地域で生活できるようにすること（＝地域自立生活）をめざした活動が地
域福祉です。地域福祉は、すべての社会福祉の基盤です。また、地域福祉を学ぶことは、本当の意味での
「生活」（日々の暮らし、人生）とは何かを考えることでもあります。

「こんな地域をつくりたい」という夢を語り合いながら、どうしたらそれが実現できるかをみんなで一
緒に考えていきましょう。